

## 高寺功家文書概要

- 1: 文書群番号 118013
- 2: 文書群名 高寺功家文書
- 3: 出所 高寺功家
- 4: 家業・役職等 西武庫村庄屋
- 5: 地名 摂津国武庫郡西武庫村 / 兵庫県武庫郡西武庫村 / 武庫郡武庫村西武庫 / 尼崎市西武庫 / 尼崎市武庫町ほか
- 6: 行政区分 幕府領 / 旗本佐藤氏(信則系)知行所 / 兵庫県第8区 / 常吉組戸長役場 / 武庫村 / 尼崎市
- 7: 歴史  
西武庫は市域北東部、武庫川の東岸に位置した武庫地区の大字。史料上の初見は、正保年間(1644~1648)の「正保郷帳」(『尼崎市史』第5巻)で、「慶長十年(1605)摂津国絵図」には養田村となっている。近世初期には幕府領、元和3年(1617)旗本佐藤氏(信則系)知行所となった。村高は「慶長十年摂津国絵図」に152.221石、「元禄郷帳」に152.521石、「天保郷帳」に192.165石とある。水利は武庫井組に属し、氏神牛頭天王社(須佐男神社)、浄土真宗興正派養専寺がある。高寺家は西武庫村で庄屋を務めた家である。  
明治22年(1889)以降は武庫村、昭和17年(1942)以降は尼崎市の大字となった。
- 8: 伝来 市史編纂室時代に調査、目録を作成している(「旧目録」)。平成30年(2018)6月、古書店より購入した。
- 9: 史料入手先 古書店
- 10: 点数 188
- 11: 年代 延宝2(1674)~昭和2(1927)
- 12: 構造と内容  
近世の村文書と近代の頼母子講などの文書からなる。村文書は村方家別小算用帳などのほか頼母子講関係の文書などがある。家文書の中には、明治期の相続関係の文書などが含まれている。最も古いのは延宝2年(1674)の金子借用証文である。頼母子講の文書が多く残されており、大部分は明治・大正期のものである。  
なお本文書群は、市史編集室作成の「旧目録」に掲載されていない新出史料が含まれており、目録の請求記号65番以降の史料がそれに当たる。また「旧目録」に掲載されているが本文書群にはない史料があり、それらはマイクロフィルムによって閲覧が可能である。
- 13: 関連史料 高寺清太郎氏文書、高寺秀典氏文書
- 14: 閲覧条件 原本、マイクロフィルム
- 15: 作成者 城戸八千代